

研究テーマ

各教科で進めるキャリア教育
～「各教科」と「総合的な学習の時間」を関連付けたキャリア教育の推進～

研究のねらい

キャリア教育の視点を明確にした教科指導を充実するとともに、教科・領域における関連を図ることで、学習が現在や将来の生活に結び付いていることを生徒に実感させ、学ぶ意欲を高める。

実施内容

【１】総合的な学習の時間を中心とした取組

①職業研究（１学年）

望ましい勤労観・職業観を身に付けさせる取組として、１年生全員を対象としたインターンシップの実施と報告会を開催した。

②環境教育研究（１学年）

環境フォトコンテストや学校林整備作業等を実施し、状況判断力、問題解決能力、コミュニケーション能力等を身に付けさせる取組を行った。

③学部学科研究（１，２学年）

自己の将来を設計するために必要な課題に取り組ませるために、外部講師による大学・専門学校等模擬授業体験等を実施した。

④小論文研究（１，２，３学年）

小論文を読む、書くことを通じて、社会の様々な問題について知り、問題解決や自己の考えを表現する方法を学ばせた。

⑤朝読研究（１，２，３学年）

年間を通して実施し、想像力や集中力、言語能力の向上、豊かな人間性の伸長を図るとともに、自己の生き方・在り方について考えさせた。

【２】教科における取組

①各教科担任によるキャリア教育の視点を踏まえた授業を実施した。

②外部講師による「現代社会」における出前授業として、キャリア教育から、現代の労働問題の課題を踏まえつつ、自分の人生設計を考えさせる取組を行った。

【３】教職員研修の充実

①外部講師による講演会の開催。

演題「学力向上につながるキャリア教育」

②教職員によるワークショップ研修会の実施。

テーマ「生徒のよさと課題に基づく学校課題の焦点化および効果のある指導について」

研究の
成果と課題

【成果】

- 生徒対象のアンケートからは、本校の取組について８割以上の生徒が自らの進路選択に「役立っている」と好意的に評価している。
- 教職員研修において、生徒のよさと課題、今後の取組の方向性等に対する共通理解を図ることができた。

【課題】

- 生徒の主体性や創造性をより伸ばさせる取組内容に改善していくことが課題である。
- 組織的に生徒のやる気を引き出せる日々の声掛けや、キャリア教育を教科等で進めるための指導力の向上が必要である。